

令和4年5月31日14時00分
近畿地方整備局
(国土交通省同時発表)

近畿で8年ぶり 都市景観大賞 大賞受賞

～「大阪府大東市北条（morineki）地区」が都市空間部門で全国唯一の受賞～

大阪府大東市北条（morineki）地区が、今年度の都市景観大賞（都市空間部門）において、大賞（国土交通大臣賞）受賞。

当地区は、公営住宅の既成概念を打ち破り、民間主導の公民連携で住宅に加えオフィス、商業を巧みに併設し、豊かな生活と活動の場を実現。今後の公営住宅建て替えのモデルになると、審査員からも高評価を得ました。

なお、近畿地方整備局管内からは、その他「先斗町地区(京都市)」「近江八景と東海道でつながる大津市と草津市の景観づくり」も優秀賞を受賞しています。

大賞・優秀賞の表彰式は、令和4年6月15日(水)15時40分～国土交通省に於いて実施予定です。

< 取扱い >

< 配布場所 > 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

< 問合せ先 >

国土交通省 近畿地方整備局

建設部 計画管理課 課長 堀越 崇志 (内線 6121)

建設部 計画管理課 課長補佐 岡本 毅士 (内線 6123)

TEL:06-6942-1141(代表) 06-6942-1051(夜間直通)

< 審査・表彰式の取材等登録方法についての問合せ先 >

国土交通省 都市局公園緑地・景観課 下平、渡邊 (内線 32982、32985)

TEL:03-5253-8954(直通) FAX:03-5253-1593

住宅局市街地建築課 杉野、金井 (内線 39633、39635)

TEL:03-5253-8515(直通) FAX:03-5253-1631

近畿で2地区1活動が都市景観大賞

各部門で「大賞」「優秀賞」を受賞

都市空間部門

【大賞】大阪府大東市 【優秀賞】京都府京都市

景観まちづくり活動・教育部門

【優秀賞】「近江八景と東海道でつながる大津市と草津市の景観づくり」

1. 都市景観大賞の概要

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区・活動に対し「大賞」「優秀賞」等を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しております。

2022年度は、全国各地からの応募の中から、【都市空間部門】は、「大賞」1地区、「優秀賞」4地区、「特別賞」1地区、【景観まちづくり活動・教育部門】は、「大賞」1活動、「優秀賞」3活動、「特別賞」1活動が選定され、令和4年6月15日（水）に表彰式及び受賞活動発表を実施します。

2. 受賞した地区・活動

近畿地方では都市空間部門として、大阪府大東市の「北条（morineki）地区」が大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。

北条（morineki）地区では、老朽化した市営住宅の建て替え事業において、民間主導の公民連携事業スキーム（PPP エージェント方式）を用いて住宅だけではなく、オフィス、店舗及び公園を合わせた複合用途の賑わいまちづくりを実現。事業に伴い、周辺地域のイメージ転換と雇用や経済効果も現れるなど、市営住宅の建て替え事業の既成概念を打ち破り、今後の公営住宅建て替えのモデルになるとして高評価を受け、「大賞」受賞に至りました。

また、都市空間部門では京都府京都市の「先斗町地区」も優秀賞（「都市景観の日」実行委員会 会長賞）を受賞。

「先斗町地区」は、平成22年から地元団体により屋外広告物の自主改善事業が開始されたことがきっかけで景観保全の取組みが推進されてきた地域で、その後、地元協議会と行政が一体となり、界わい景観整備地区の指定（景観地区の規制強化）・屋外広告物等特別規制地区の指定など、景観保全の取組みが継続されてきました。令和4年には行政、民間電力会社の支援のもと無電柱化事業を達成し、伝統空間の魅力を取り戻しました。

景観まちづくり活動・教育部門においても、滋賀県大津市・草津市で実施されている「近江八景と東海道でつながる大津市と草津市の景観づくり」が優秀賞（「都市景観の日」実行委員会 会長賞）を受賞しました。

この取組みは、これまで両市が個別に景観形成の取組みを進める状況にあった中、両地区の委員会が行政と協働し、東海道統一案内看板の作成など、琵琶湖と東海道の風景を共有していることを実感できる啓発事業を実施することで、広域景観連携に向けた機運を高めることが目的でした。その後、様々な啓発事業の取組みが功を奏し、次第に広域景観形成を進める機運が高まり、両市共同の「びわこ東海道景観基本計画」の策定にいたりました。

現在は、この計画を基に市域を越えて、行政、市民及び事業者が一体となって良好な広域景観形成に資する様々な事業に取り組んでいます。

なお、2022年度全国の受賞地区、受賞団体及び受賞活動は別表のとおりです。

3. 過去(平成27年度以降)における近畿の受賞地区

平成26年度	大賞	兵庫県篠山市「篠山城下町地区」
平成27年度	特別賞	京都府京都市「市民力による京都の広告景観向上の取組」
平成29年度	優秀賞	福井県福井市「福井駅西口地区」
平成30年度	優秀賞	京都府宮津市「宮津・竹の学校」
令和元年度	優秀賞	兵庫県姫路市「リビオ姫路大津のぞみ野地区」
令和元年度	優秀賞	大阪府枚方市「プレーパークこうりがおか」

大賞 国土交通大臣賞

大阪府大東市北条 (morineki) 地区

所在地 大阪府大東市

地区面積 約1.1ha

応募者 大東市、株式会社コーミン、東心株式会社、株式会社ブルースタジオ、株式会社石本建築事務所、もりねき未来会議

地区概要

北条地区は大阪府大東市にある JR学研都市線四条駅東側の東側に位置する。整備前は老朽化した市営住宅や都市計画公園があり、店舗、店舗併用住宅、戸建住宅、市営住宅の混在地区であり、大東市内の他の地域よりも10ポイントほど高齢化率の高い地域。本市では市営住宅の建て替え計画を機に、公園、道路、河川、橋梁を一体的に、生駒山系の豊かな自然に寄り添う北条地区のランドデザイン、エリアビジョンの再構築を行い、まちづくり会社による公民連携の事業スキーム（PPP エージェント方式）を用いた住宅、オフィス、店舗及び公園を合わせた複合用途の賑わいまちづくりを実現させた。賃料収益を生みだすべきオフィス、店舗部分のテナントはエリアのランドデザインに共感する企業が着工前に名乗りを上げ、その状況をもって金融機関からの建設資金の調達を成功させている。

職、住の隔てなく、自然環境豊かなこの地で暮らしの環境を育む「北条の樹」のビジョンは、ここで生まれる多様な人々の交流そのものをこの地域固有の情景に変えている。地理的環境と歴史的環境を活かした街並みの整備によって、地域には新しい賑わいの拠点と共にシビックプライドが芽生え、定住人口も増加傾向に転じている。

審査講評

写真からは、今時のおしゃれでヒューマンなデザインと見える。しかしこれが戸数を大幅に減らした公営住宅建替えプロジェクトだと聞けば、なぜこのようにできたのか、という疑問が湧く。簡単には説明できない徹底した公民連携のプロセスがその鍵であった。景観の創出には事業の仕組みやプロセスにジャンプが必須である、そしてそれは可能なのだ。事業がもたらしたアウトカムは、住む、集う、働く人のウエルビーイングであり、周辺地域のイメージの転換と雇用や経済効果である。それを実現させたのは、敷地の力を育てるコンセプトとランドスケープ、あらゆるディテールというデザイン力である。プロジェクトチームの一人ひとりが、この場所をどのようにしたいのかを突き詰め、描いたビジョンの力が、多くの人の心に響き、それぞれの仕事をイキイキとさせる。そのプロセスと情熱と勇氣は、現代日本社会に大きな元気を与えてくれる。文句なしの大賞である。（佐々木）



権現川の恵を受けて、飯盛山に力強く伸びていく樹、「北条の樹」が開発のイメージコンセプト。



都市公園と住宅棟群と商業棟群とそれぞれ敷地が分かれていながら、計画全体が公園のように連続している。



商業・オフィス棟は、一棟の建物であるが、建物を雁行させ、それぞれの建物高さを変えることで、小さな商店の連なりに見えるように配慮している。



都市公園と連続する中庭では、住人のみならず歩行者も含めて様々なコミュニケーションが見られる。

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

ぼんとちょう

先斗町地区

所在地 京都府京都市
 地区面積 約2.1ha
 応募者 先斗町まちづくり協議会、京都市

地区概要

先斗町地区は鴨川の右岸、三条通と四条通との間に位置し、花街として栄えてきた一画である。茶屋の減少によって飲食店が進出し、地区の中心を南北に走る先斗町通は屋外広告物に埋め尽くされた雑然とした町並みとなっていた。しかし、平成22年から屋外広告物の自主改善事業を開始し、その後は先斗町まちづくり協議会と京都市の協働による景観保全をハイスピードで実践してきた。令和3年に無電柱化事業が完了するまでに、町並み調査・地域景観づくり協議会の認定・界わい景観整備地区の指定（景観地区の規制強化）・屋外広告物等特別規制地区の指定といった景観保全の取り組み、軒下花展・まちあるきイベント・セミナー開催といった景観保全に対する意識啓発の取り組み、そして、このまち守り隊など歴史的景観を災害などから守るための取り組みを同時並行で実施している。

その結果、先斗町通から美しい景観と綺麗な空が見えるようになった。茶屋建築が多く残る先斗町通は、かつての花街としての景観を取り戻したといえる。

また、景観保全の取り組みを通して、先斗町まちづくり協議会を中心に行政・大学・他地区のまちづくり組織など様々な主体が連携し、新たな課題にチャレンジできる体制を構築している。

審査講評

京都には重伝建地区がいくつもあるなか、花街として知られる先斗町の歴史景観は忘れられていた。時代の流れで茶屋が減り、各種飲食店が増えたことで、路上の看板、広告物が氾濫し、本来の空間の個性、魅力が完全に失われていた。

その危機感から地元のリーダー達が立ち上がり、2009年、「先斗町の将来を考える集い」を作り、地域独自のルール「先斗町町式目」を設けて、屋外広告物の自主改善事業に取り組んだのが、全ての始まりだった。それから13年、地道な努力が実り、全長490mに渡って先斗町らしい看板の演出に成功し、さらには京都市、関西電力の支援のもと無電柱化事業を達成でき、花街のルーツをもつこの先斗町は見違えるように美しく甦った。さすが先斗町、無電柱化に際しては、地上機器、配管にも美意識が発揮され、舗装のデザインにも洒落た工夫が施された。地元子供達も制作に参加する軒下花展が町並みに彩を加え、コロナ禍で考案された京行燈の設置が夜間景観の粋な魅力を生んでいる。南北に大きく広がる7町会を束ね、業種ごとの利害対立を乗り越えて組織、運営されている「先斗町まちづくり協議会」が果たした役割は極めて大きく、まさにボトムアップ型の景観まちづくりが実を結んだ価値ある成功例といえる。（陣内）



屋外広告物の自主改善事業を実施、令和3年に無電柱化事業が完了し、花街の景観は大きく改善した。（左：2021年10月、右：2012年3月）



無電柱化事業で設置された地上機器は、場所に応じて覆い屋などで美化化。先斗町通の入口部分の舗装は、シンボルである千鳥がデザインされている。



軒下花展開催時の先斗町通の夜間景観。



コロナ禍による営業形態と夜間景観の変化に対応するために、設置した京行燈（右下）。

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

近江八景と東海道でつながる大津市と草津市の景観づくり

活動エリア 滋賀県大津市及び草津市

応募者 びわこ大津草津景観推進協議会、公益社団法人 滋賀県建築士会大津地区委員会・同湖南地区委員会

活動概要

琵琶湖を挟んで向かい合う大津市と草津市は東海道宿場町における歴史文化、「近江八景」に象徴される美しい景観で密接につながっている。一方で両市は景観行政団体であることから個別に景観形成の取り組みを進める状況にあった。この状況の中、公益社団法人 滋賀県建築士会大津地区委員会・同湖南地区委員会が広域景観連携に向けた両市民の機運を高めることを目的に行政と協働し、琵琶湖と東海道の風景を共有していることを実感できる啓発事業を実施した。これら取り組みを契機として、両市で広域景観形成を進める機運が高まり、地方自治法の規定に基づき両市広域連携を図る「びわこ大津草津景観推進協議会」を議会の議決を経て設立。また一層の景観連携推進のため、景観法に基づく「びわこ東海道景観協議会」を設立のうえ、両市共同の「びわこ東海道景観基本計画」を策定した。現在は、この計画を基に市域を越えて、行政、市民及び事業者が一体となって良好な広域景観形成に資する様々な事業に取り組んでいる。

審査講評

琵琶湖、東海道の景観形成に関する様々な活動が評価され、優秀賞となった。現地審査において、両市の連携による多くの市民啓発活動、東海道統一案内看板の作成と設置、びわこ東海道景観基本計画に基づく協議会について、充実した取り組みがされていることが理解できた。対岸から見た琵琶湖周辺の景観は、人口の急激な増加や環境の変化など、多くの課題を表出している。美しい近江八景、東海道の景観を再構築していくことは、観光資源を守るという事だけでなく、住民の方々のよりよい生活、環境保全の意味でも重要であることも分かった。東海道の統一案内看板は数も増えてきたとのこと、さらなる充実を期待する。今回の審査では、地元の学校でどのように景観に関する教育が行われているかは分からなかったが、おそらく多くの学校に於いて、琵琶湖や東海道に関する学習が行われていることであろう。将来は学校教育との連携も視野に入れることができれば、より大きな成果を得ることができるものと思う。いずれ、大津市、草津市から東海道全域に多くの看板が設置され、看板を巡る東海道の旅が実現できることを願っている。(楚良)



公益社団法人 滋賀県建築士会大津地区委員会・同湖南地区委員会主催事業「急がばまわれ 瀬田の唐橋」(平成24年)。



「景観づくりチャレンジ隊」東海道統一案内看板のペンガ塗り体験(令和元年)。



「景観づくりチャレンジ隊」対岸景観クルーズ(令和2年)。



滋賀県草津市に設置されている東海道統一案内看板。

都市空間部門 受賞地区一覧

大賞 国土交通大臣賞

地区名	地区面積	応募者
大阪府大東市北条 (morineki) 地区 (大阪府大東市)	約1.1ha	<ul style="list-style-type: none">・大東市・株式会社コーミン・東心株式会社・株式会社ブルースタジオ・株式会社石本建築事務所・もりねき未来会議

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

地区名	地区面積	応募者
先斗町地区 (京都府京都市)	約2.1ha	<ul style="list-style-type: none">・先斗町まちづくり協議会・京都市
久松地区 (鳥取県鳥取市)	約37ha	<ul style="list-style-type: none">・鳥取市・鳥取市教育委員会
倉敷市阿知3丁目東地区 (岡山県倉敷市)	約1.7ha	<ul style="list-style-type: none">・あちてらす倉敷まちづくり協議会・倉敷まちづくり株式会社・倉敷市・株式会社アール・アイ・エー・株式会社藤木工務店
新山口駅周辺地区 (山口県山口市)	約2.2ha	<ul style="list-style-type: none">・山口市・株式会社プランツアソシエイツ

特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

地区名	地区面積	応募者
竹芝地区 (東京都港区)	約28ha	<ul style="list-style-type: none">・一般社団法人竹芝エリアマネジメント・東京都・港区芝地区総合支所・東急不動産株式会社・鹿島建設株式会社・株式会社アルペログランデ・竹芝 Marine-Gateway Minato 協議会・一般社団法人竹芝タウンデザイン・東日本旅客鉄道株式会社・株式会社 JR 東日本建築設計・株式会社水辺総研・公益財団法人東京都島しょ振興公社・株式会社石勝エクステリア・竹芝地区まちづくり協議会・一般社団法人 CiP 協議会・公益財団法人東京都公園協会・東京港埠頭・テレポートセンターグループ・国立大学法人東京海洋大学 佐々木剛研究室・東京都立芝商業高等学校

景観まちづくり活動・教育部門 受賞活動一覧

大賞 国土交通大臣賞

活動名	活動エリア	応募者
<small>しらかわ</small> 白川「緑の区間」における 水辺の賑わいを創出するための地域活動	熊本県 熊本市	・白川「緑の区間」利活用推進協議会

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
松本の都市デザイン・ 景観を考える講座・ワークショップ	長野県 松本市	・松本市
近江八景と東海道でつながる 大津市と草津市の景観づくり	滋賀県 大津市・草津市	・びわこ大津草津景観推進協議会 ・公益社団法人滋賀県建築士会 大津地区委員会・同湖南地区委員会
アーバンデザイン・ スマートシテイスクール松山	愛媛県 松山市	・松山アーバンデザインセンター

特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
世界文化遺産 姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業	兵庫県 姫路市	・姫路市立白鷺小中学校 ・白鷺学校運営協議会